

証券コード：9012

株主のみなさまへ

第202期 事業報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日





ごあいさつ

拝啓 株主の皆様には、平素から当社および当社グループの事業に対して格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第 202 (2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日) の業績及び当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におきましては、観光需要の高まりが見られたものの、諸物価の上昇など、注視が必要な状況が続きました。

このような中、当社グループでは、沿線の市町や事業者、同業他社と連携した誘客活動を積極的に展開し、地域の活性化と収益の確保に努めました。また、適正な運賃、料金への見直しのほか、効率的な事業運営、有機的な統制を図るべく組織改定を実施するなど、持続可能な経営基盤の構築に向けた取り組みを推進いたしました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は 5,276 百万円 (前期比 7.4%増)、営業利益は 304 百万円 (前期は 16 百万円の営業利益)、経常利益は 270 百万円 (前期は 19 百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純利益は 115 百万円 (前期比 24.9%増) となりました。

当期の配当金につきましては、会社法に定める分配可能額を確保できていないことから、誠に遺憾ながら引き続き無配とさせていただきますと存じます。株主の皆様には、お詫び申し上げますとともに、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

当社グループは、鉄道事業を柱として事業展開しており、公共交通機関としての「安全・安心・安定」を維持できる事業者であることが使命であり、輸送の安全、無事故無災害の達成を最優先課題に掲げております。この課題の達成に向け、安全面における計画的な設備投資や従業員への教育などソフト・ハード両面における取り組みを更に強化してまいります。第 4 種踏切道の安全対策につきましては、緊急追加対策として昨年 7 月までに人感音声再生機を全箇所を設置いたしました。関係者との協議を継続し、より有効な対策を検討、実行してまいります。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、当社沿線における居住人口の減少のほか、諸物価の高騰、人件費や金利の上昇など、引き続き不透明な状況にあります。このような中、安定した経営基盤の構築に向け、組織改編や適正な運賃・料金への見直し、人材への投資など諸施策を進めてまいりましたが、今後も持続可能な成長を見据え、以下のとおり取り組んでまいります。

鉄道事業では、積極的な営業施策の継続に加え、輸送の効率化と収益の拡大の両面から地方鉄道の「あるべき姿」を検討し、いわゆる「改正地域交通法」により創設、拡充された枠組みの有効な活用の道を探ってまいります。

観光事業では、今秋、連結子会社である宝登興業株式会社と合併することいたしました。これにより、長瀬地域において観光事業体制を一元化し、組織運営の更なる効率化・最適化を図ります。今後も、当社グループの総力を結集して、沿線観光地の魅力向上に取り組んでまいります。

不動産事業では、駅前を中心とした不動産について、地域の発展と当社の事業性の両面から有効な活用方法を検討し実行してまいります。

他方、今後の持続可能な成長を実現するためには、「人材」への投資は必要不可欠であり、専門知識や経験を有する人材を育成するとともに、就業環境の改善を図り、従業員にとって魅力ある会社づくりを進めてまいります。

また、お客様サービスの向上、地域社会との連携などにより、株主の皆様や沿線の市町、住民の皆様に、当社グループに対する良き理解者となってもらえるよう努め、信頼を積み重ねてまいります。

今後も、積極的な営業施策や一層の経営効率化による安定した利益の計上と強固な経営基盤の構築を図り、また、地域社会とともに持続的に発展することにより、企業価値向上に努めてまいります。

敬具

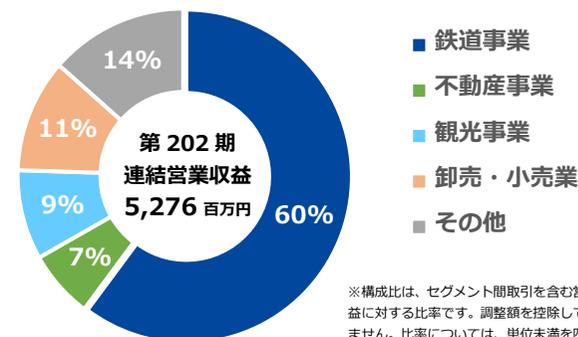
2025 年 6 月

秩父鉄道株式会社
代表取締役社長

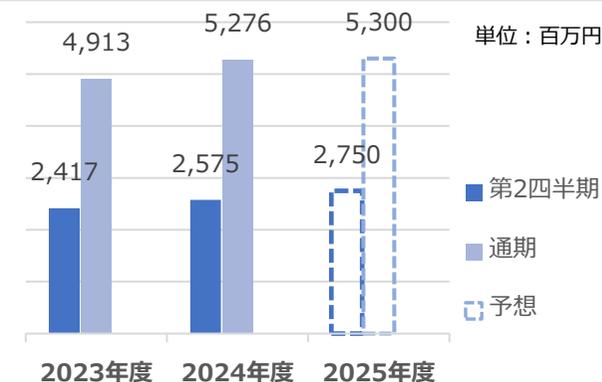
牧野 英伸

連結決算の概要

セグメント別営業収益構成比



営業収益



経常利益



事業概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、卸売・小売業、その他の事業を展開しております。
当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業



鉄道事業におきましては、輸送の安全性向上を図るため、設備面では連動装置更新工事や落橋防止装置設置工事、第4種踏切道の安全対策工事などを実施するとともに、異常時訓練や警察・消防機関との共同訓練の実施、安全指導による従業員の意識向上に取り組みました。

旅客部門では、10月に旅客運賃の改定を行ったほか、鉄道の魅力を活かした体験型イベントの開催や夜行貸切列車の運行、各種記念乗車券類の発売など、積極的な営業施策に取り組みました。これらにより、定期・定期外旅客の人員及び収入は前期に比べ増加いたしました。

貨物部門では、輸送量が減少したことにより、貨物収入は前期に比べ減少いたしました。

その他、受託工事の増加等により、運輸雑収が増加いたしました。

営業費用は、電力費や修繕費などが前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は3,426百万円（前期比6.4%増）、営業利益は17百万円（前期は143百万円の営業損失）となりました。

不動産事業



不動産事業におきましては、賃貸収入が駐車場の稼働率向上などにより前期に比べ増加した一方、請負工事収入は前期に比べ減少いたしました。

営業費用は、売上原価が前期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は373百万円（前期比1.0%増）、営業利益は225百万円（同22.3%増）となりました。

観光事業



観光事業におきましては、天候に恵まれたほか、料金改定の効果もあり、長瀬ラインくんだりや宝登山ロープウェイなどの各施設の収入は前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は494百万円（前期比16.6%増）、営業利益は43百万円（前期は1百万円の営業損失）となりました。

卸売・小売業



卸売・小売業におきましては、コンビニエンスストアや駅売店などの収入が前期に比べ増加いたしました。

営業費用は、人件費などが前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は625百万円（前期比3.7%増）、営業利益は17百万円（同21.4%減）となりました。

その他



建設・電気工事業におきましては、完成工事高が増加いたしました。バス事業におきましては、高速乗合バスの新規路線運行開始などにより増収となったものの、依然として厳しい状況が続きました。

この結果、営業収益は769百万円（前期比9.5%増）、営業利益は6百万円（前期は54百万円の営業損失）となりました。

決算の詳細について

🔍 秩父鉄道 IR 情報

▶ <https://www.chichibu-railway.co.jp/corporate/ir.html>





連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科目	当連結会計年度末 (2025年3月31日)	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,030,781	1,858,059	172,721
固定資産	14,869,034	14,595,094	273,940
資産合計	16,899,816	16,453,153	446,662
(負債の部)			
流動負債	3,988,936	3,500,051	488,884
固定負債	7,907,321	8,023,672	△ 116,351
負債合計	11,896,257	11,523,724	372,532
(純資産の部)			
株主資本	△ 2,014,127	△ 2,139,748	125,621
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	29,459	19,032	10,426
利益剰余金	△ 2,761,310	△ 2,876,900	115,590
自己株式	△ 32,276	△ 31,880	△ 396
その他の包括利益累計額	7,017,686	7,058,085	△ 40,398
非支配株主持分	-	11,092	△ 11,092
純資産合計	5,003,559	4,929,428	74,130
負債純資産合計	16,899,816	16,453,153	446,662

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書の要旨

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 自2024年4月1日 至2025年3月31日	前連結会計年度 自2023年4月1日 至2024年3月31日	増減額
営業収益	5,276,389	4,913,066	363,322
営業費	4,971,419	4,896,171	75,248
営業利益	304,969	16,895	288,074
営業外収益	29,924	49,074	△ 19,150
営業外費用	64,824	46,297	18,526
経常利益	270,069	19,672	250,396
特別利益	198,333	902,950	△ 704,617
特別損失	328,196	819,870	△ 491,674
税金等調整前当期純利益	140,206	102,752	37,454
法人税、住民税及び事業税	22,335	15,657	6,678
法人税等調整額	2,140	△ 5,757	7,898
当期純利益	115,730	92,853	22,877
非支配株主に帰属する当期純利益	139	281	△ 142
親会社株主に帰属する当期純利益	115,590	92,571	23,019

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 自2024年4月1日 至2025年3月31日	前連結会計年度 自2023年4月1日 至2024年3月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	538,273	34,278	503,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 406,067	19,958	△ 426,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 36,216	116,764	△ 152,981
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	95,989	171,001	△ 75,011
現金及び現金同等物の期首残高	981,760	810,758	171,001
現金及び現金同等物の期末残高	1,077,750	981,760	95,989

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

わくわく鉄道フェスタ 2024

2024年5月18日、19回目となる「わくわく鉄道フェスタ2024」を、広瀬川原車両基地にて開催いたしました。鉄道関連品の販売やキッチンカーの出店、ゲストによるトークショーのほか、クイズ大会や鉄道模型展示の新たな企画などご来場のお客様にお楽しみいただきました。



渋沢栄一新紙幣発行記念

2024年7月、当社にもゆかりのある渋沢栄一翁が新一万円札の肖像になることを記念して、「SL渋沢栄一新紙幣発行記念号」を運行したほか、JR東日本高崎支社と連携して、「渋い鉄道スタンプラリー」を開催いたしました。



鉄道インフラを活用した各種企画

鉄道インフラを活用した各種企画を積極的に実施いたしました。鉄道ファンに向けた当社初の試みとなるイベントも盛りだくさんで、多くの方にお楽しみいただきました。

▶ 貨物列車乗車体験

2024.4

貨物輸送を行う当社ならではのイベントとして「貨物列車体験」を実施いたしました。トキの荷台に乗車して構内を走行するなど当社初の企画となりました。



▶ 軌道モーターカー プレミアム撮影会

2024.4



当社で活躍するモーターカー全5機の撮影会を実施いたしました。当日は、ライトアップを行い、夜間に活躍する姿に近い状況を再現し、撮影会をお楽しみいただきました。

▶ 三峰口駅 SL 転車台乗車・駅員体験

2024.5

三峰口駅にて、SL 特別体験と駅員体験が楽しめるイベントを開催いたしました。SL 運転台に乗車し、転車台での方向転換の体験や駅員の仕事を一部体験していただきました。



▶ 熊谷駅構内 電気機関車運転体験

2025.3



電気機関車の運転操作を熊谷駅構内の側線で、より実践に近い環境で体験することができる大人限定の本格的な運転体験イベントを実施いたしました。

SL パレオエクスプレス旧型客車特別運行

2024年4月13日、14日、20日、21日 東日本旅客鉄道株式会社ぐんま車両センター所有の旧型客車を借用し、SLパレオエクスプレスけん引にて特別運行をいたしました。蒸気機関車 C58363 号機は、2024年2月19日に製造から80年を迎え、傘寿を祝う特別企画として実現しました。



長瀬秋夜めぐり 2024 の開催

2024.11

沿線市町等の協力のもと、渋沢栄一翁が新一万円札に起用されたことを記念して、渋沢栄一翁ゆかりの地である長瀬の夜をライトアップで彩るイベントを開催いたしました。2024年は、「長瀬」が国の名勝及び天然記念物に指定を受けてから100年の節目を迎えることから、これからの100年に繋げていけるようなイベントとして開催いたしました。



EL 秩父夜祭 花火鑑賞号

2024.12

秩父夜祭開催に際して秩父駅構内の側線に客車から花火観賞を楽しめて帰りの便にもなるツアー専用臨時列車「EL 秩父夜祭花火観賞号」を運行いたしました。



第4種踏切道の安全対策

第4種踏切道の安全対策として、第4種踏切道の廃止を進めたほか、緊急追加対策として2024年7月までに人感音声再生機を全箇所を設置いたしました。今後も、関係者との協議を継続し、より有効な対策を検討、実行してまいります。



各種記念乗車券類の発売

旧型客車運行や創立125周年、鉄道の日などを記念した乗車券類の発売のほか、株主様に渋沢栄一翁新紙幣発行を記念した株主優待乗車証を贈呈いたしました。

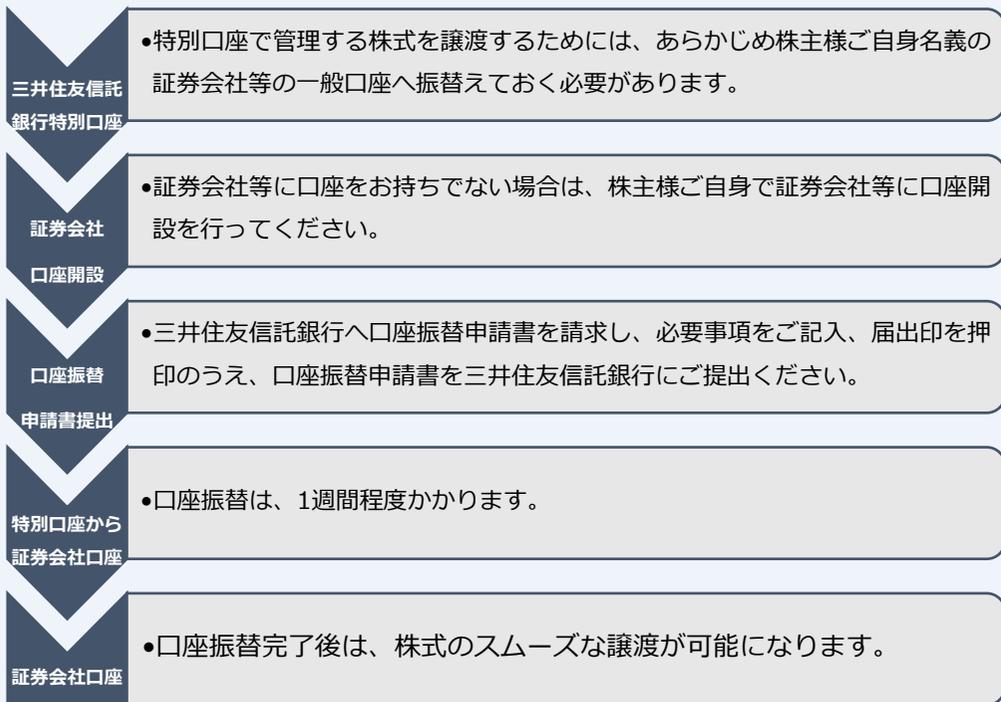


株式に関する各種手続き

証券会社に口座をお持ちでない株主様へ

株券電子化（平成 21 年 1 月 5 日実施）の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主様の株式は、当社が日三井住友信託銀行に開設した特別口座で管理されています。「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替しておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内



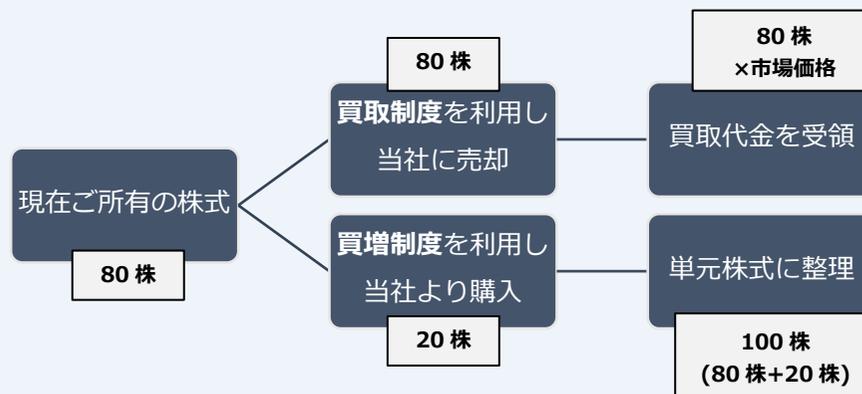
単元未満株式の買取・買増制度のご案内

当社の単元株式数は、100 株ですので、100 株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願いいたします。

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

(例) 当社株式を 80 株ご所有の場合、その 80 株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度

ご所有の単元未満株式を 1 単元（100 株）の株式にするために必要な株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

(例) 当社株式を 80 株ご所有の場合、20 株を市場価格で当社から購入し、100 株にする。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問い合わせ下さい。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-707-843 (平日 9:00~17:00)

株主優待制度

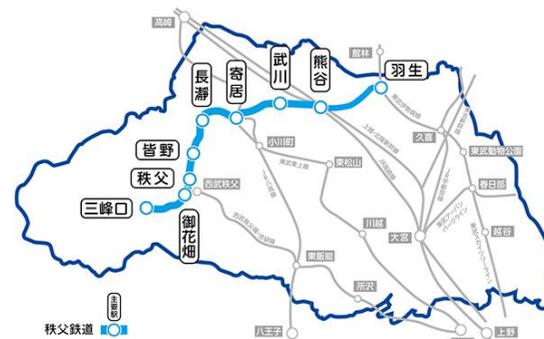
毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主様に対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を発行いたします。なお、株主優待の内容や対象施設については、予告なく変更する場合がございます。

1. 優待乗車証（定期券式）

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
1,500株以上 2,100株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
2,100株以上	当社電車全線及び索道（宝登山ロープウェイ） 全線優待乗車証	1枚

※有効期間：6月1日から1カ年間（5月下旬発送）



2. 優待乗車証（回数券式）

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
100株以上300株未満	2枚
300株以上500株未満	4枚
500株以上1,000株未満	6枚
1,000株以上	10枚

※有効期間：7月1日から1カ年間（6月下旬発送）

3. 優待割引券

ご所有株式数100株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
長瀬ラインくんだり ガーデンハウス有隣お食事代 (飲み物は除く)	50%割引券 各5枚
宝登山小動物公園	特別入園券 5枚

※有効期間：7月1日から1カ年間（6月下旬発送）



役員・株主メモ

役員（2025年6月26日現在）	
代表取締役社長	牧野 英伸
取締役	坂本 昌己
取締役	鷹塚 泰則
取締役	荒船 慎一
取締役	會田 哲也
取締役	曾根原 正宏
常勤監査役	藤野 孝男
監査役	根岸 俊介
監査役	正田 孝之
監査役	中谷内 茂樹

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日 定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先 お問い合わせ先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-707-843（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店においても 行っております。
公告方法	電子公告（ https://www.chichibu-railway.co.jp ） ただし、電子公告によることができないときは、東京都において 発行する日本経済新聞に掲載する方法とします。
単元株式数	100株
皆様へのお願い	住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が間違いなく届きますよう、 お早めに上記株主名簿管理人にお手続きください。



発行：秩父鉄道株式会社

総務部総務課 TEL 048-523-3311

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地 <https://www.chichibu-railway.co.jp/>